



## 竹崎カニが給食に登場!!

### うまかもん給食 10/11(水)

「たら産うまかもん給食」は毎年3回実施されており、これまでもみかんや豚肉など太良町の特産品を給食でいただけてきました。今回は、何と「竹崎カニ」が給食に初登場しました。カニ飯やカニみそ汁ではなく、竹崎カニが太良町内の小中学生全員に一人1杯ずつ提供されたのです。カニが食べられない生徒たちには代替食としてハンバーグが準備されました。(こちらもとても美味しかったそうです。)

生徒たちは事前にカニの食べ方の動画(太良町旅館組合制作)を見て当日を迎えました。給食時間になると、食缶にあふれんばかりの竹崎カニが一人ずつに配られ、太良町旅館組合からボランティアで来られたお二人から食べ方を指南していただきながらカニを食べました。



1クラス分のカニ



1人分のうまかもん給食(竹崎カニ)



給食で丸々1杯食べられたのにはびっくり! 特別感がありました。

### 生徒たちの感想(アンケート集計の結果)

その日のうちにアンケート(タブレット)を実施しました。その結果からは、うまかもん給食で竹崎カニを食べたことは、生徒たちにとってかなり好評だったようです。(回答生徒数96名)

#### Q竹崎カニの味についてどう感じましたか?

- ・とてもおいしかった(68)
- ・まあまあおいしかった(16)
- ・普通だった(3)
- ・あまりおいしくなかった(2)

#### Q竹崎カニを学校給食で食べることにどう思いますか?

- ・とても良い取組だと思う(33)
- ・良い取組だと思う(37)
- ・特に感じない(17)
- ・あまり良い取組だとは思わない(4)

#### Q再び学校給食で竹崎カニを食べたいと思いますか?

- ・ぜひ食べたい(30)
- ・もう一度食べてみたい(25)
- ・どちらとも言えない(25)
- ・あまり食べたくない(10)

- 私は、カニを初めて食べて、身がのっていて美味しかったです。けど、味噌が少し時間がかかりました。(1年)
- 私はカニがこんなにも大きくてびっくりしたし、匂いが予想以上に香りました。(1年)
- 私はカニがこんなにも大きくてびっくりした。自分には合わなかったけど新鮮な竹崎カニを食べる機会がほとんどないので味わって食べました。(2年)
- 旅館組合の方がとても分かりやすく教えてくれた。(3年)
- 肺の部分は食べれないと分かった。身やみそがいっぱい入って美味しかったです!(3年)

-----切り取り線-----

返信欄 (表面) 通信のご感想、本校へのご質問やご意見などお聞かせ下さい。「見ました」だけでも結構です。

# 進んでいます、文化発表会活動

## テーマ：「華～創れ、112人の晴れ舞台～」

2週間前から10月25日(水)の文化発表会に向けて全校制作(モザイクアート)、合唱練習などが始まっています。今年度はコロナの5類移行により「通常」の活動ができています。保護者の皆様にも当日の参観の制限はございません。生徒たちは、実行委員会(大鋸勇仁実行委員長、下平莉央副実行委員長)を中心に文化の秋を彩っていきます。文化発表会はいよいよ明後日が本番です。



モザイクアート制作中



学級ごとの合唱練習

## いのちの教育 10/19(木)

佐賀市で長年助産師をなさっている津上泰子様を講師にお招きして、「生命誕生について」と題した講演会を実施しました。動画や図を見せて生命誕生から胎児の成長について、生と性についてなど、時折生徒たちに問いかけ、考えさせながらお話をさせていただきました。「あなたの命はどこにあるの?」と聞かれた生徒たちは、考えたこともなかったという様子で、心臓? 頭? という反応でした。津上先生が「命は、頭から足の指の先まですべてが命



なの。だから体のどこかが痛いと感じた時は命が傷ついているのよ。」とおっしゃいました。

また、6名の生徒が妊婦体験をしました。約10kgのリュックを上半身に付けて、講演会の間じゅう体育館のフロアに座って話を聞きました。

今、この何気なく過ごしている瞬間も産まれるという奇跡なくしては成り立たなかったと思うと、自分が今生きている時間はとても大切なものであると分かりました。そして、その奇跡を今思わせてくれているお母さんに感謝をしたいと思います。今日、実際に胎児と同じくらいのリュックをつけていましたが、たったの数十分でも想像以上にきつかったです。さらに重たくなる中で、これを数ヶ月という苦労は想像するだけでも伝わってきますが、全てを分かった気でいてはいけなかったと思います。これらのことをふまえた上で、妊婦さんにも接していきたいと思いました。今回のお話から学んだ自分は数億分の1の存在、妊婦さんには想像を超えるほどの苦労があるということを忘れないように過ごしていきたいと思いました。(竹下敦己)

僕は、いのちの教育を受けてみて、一人一人が生まれてくるまでがどれだけ大変だったか分かりました。特に、高校サッカーで、80～90人の部員の中からエースナンバーをもらった話です。10番をもらったことより、一人一人が元気に生まれてくる方がすごいと言っていたのを聞いて、初めて一人一人が元気で健康に生まれてくるのがすごいことが分かりました。一人一人を産むお母さんがとても大変だと分かったので、お母さんに感謝の気持ちを伝えたいです。(海田純矢)



津上先生と妊婦体験をした生徒たち

※学校ホームページには学校からのお知らせや教育活動などを掲載しています。



-----  
切り取り線

返信欄 (裏面) 生徒氏名 ( ) 年 ( ) 組 ( )